

## 施策2 生涯学習の推進

### 基本事業1 学習環境の充実

基本事業名	対象	意図	成果指標				進捗度とその理由等	
			項目	単位	R5実績	R6実績		R7目標
2-1 学習環境の充実	市民 生涯学習施設	学習環境、活動の場が整っている。	①「生涯学習のための施設が整備されていて利用しやすい」と答えた市民の割合(市民意識調査) ②自主学習団体数 ③市民一人が1年間に社会教育施設を利用した回数	①% ②団体 ③回	① 27.7 ② 124 ③ 5.5	① 28.1 ② 121 ③ 5.7	① 40.0 ② 110 ③ 4	<b>B</b> 市民意識調査における施設整備に対する満足度は上昇傾向にあるが、目標値とは乖離している。 一方で、自主学習団体数や市民一人当たりの年間社会教育施設利用回数は目標値を超えた。 今後も自主学習団体が円滑な学習ができるよう学習環境の充実及び活動の場の提供を図る必要がある。

事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標				進捗度とその理由	今後の方向性等
				項目	単位	R5実績	R6実績		
2-1-1 三陸公民館施設管理・運営事業	市民、三陸公民館	安全・快適に学習活動が行える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の業務 施設利用状況の集計業務、使用料の集計収納業務、指定管理者との連絡調整等、施設設備の修繕等</li> <li>指定管理者の業務 貸館業務(受付、使用許可、使用料徴収)、施設の維持管理等業務(管理人業務、清掃、各種設備の保守点検等)</li> </ul>	①三陸公民館利用者数 ②施設不具合件数 ③施設不具合対応率	①人 ②件 ③%	① 10,779 ② 3 ③ 67	① 8,969 ② 3 ③ 33	① 6,000 ② 4 ③ 75	<b>B</b> 施設の維持管理については、人件費・光熱水費・物価高騰などにより、年々成果の維持が困難になっている。 また、施設の老朽化が進んでおり、修繕を要する不具合箇所も増加しているが、優先度、緊急度を考慮して対応することとしている。 <b>●</b> 修繕対応等、適切な施設運営を行うとともに、市民協働のまちづくりの進展に伴い、施設のあり方や減免制度の見直しを図る必要がある。 また、施設の利活用について、市芸術文化協会はじめ、加盟団体や地区と連携し、一層の利用促進を図る必要がある。
2-1-2 図書館運営事業	市民	安全で快適に図書館を利用できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の業務 図書館協議会の開催、施設・設備の維持管理業務、指定管理者の監督等</li> <li>指定管理者の業務 図書館の運営全般、移動図書館車の維持管理等</li> </ul> ※R5 4月～7月まで空調設備更新工事のため休館	①図書館資料の貸出点数 ②図書館資料の貸出者数 ③各種サービスの利用回数	①点 ②人 ③回	① 94,148 ② 16,892 ③ 3,322	① 116,750 ② 22,091 ③ 4,881	① 137,392 ② 24,587 ③ 3,183	<b>B</b> 指定管理者制度の導入により、民間の有する専門的知識やノウハウを活用し、図書館サービスの向上と効率的かつ効果的な施設運営につながっている。 図書館資料の貸出が長期的に減少傾向にある一方、学生を中心に自主学習での利用が定着しつつあり、入館者数は増加している。 <b>○</b> 指定管理者と連携し、サービスの向上に努めながら、本に触れる機会の提供を継続し、さらなる読書推進を図る。 指定管理者による施設運営が適切に行われているか監督・指導していく。
2-1-3 博物館施設改修事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>博物館利用者(市民、碁石海岸を訪れる観光客)</li> <li>博物館施設、設備</li> </ul>	快適な環境で気仙地域の自然と文化を学ぶことができる。	施設設備の改修、整備、大規模な修繕  ※R6 常設展示「荒れ狂う海 津波コーナー(東側)」改修	施設設備の改修済件数	件	1	1	1	<b>A</b> 常設展示の改修(地震、津波メカニズムを解説する新たな展示パネルの設置)により、学習環境の充実が図られた。 <b>○</b> 市公共施設等総合管理計画及び個別計画に基づき、計画的な施設改修を行い、施設の維持と博物館機能の向上を図る。

基本事業2 学習機会の拡充

基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	R5実績	R6実績	R7目標	
2-2 学習機会の拡充	市民	・学習情報が容易に入手できる。 ・多様な生涯学習機会に恵まれている。	①「生涯学習に関する情報が十分提供されている」と答えた市民の割合(市民意識調査)	①%	① 24.8	① 24.3	① 40.0	<b>B</b> (文化・芸術を除く) 市広報紙、ホームページ、SNS等を通じて生涯学習の情報発信を行いつつ、時代・情勢・環境の変化に伴う課題や専門的な学習に取り組む機会を提供した。 中央公民館及び地区公民館主催の講座は、新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、市民の学習活動が活発化したことにより、参加者が増加傾向にあるが目標に達しなかった。 図書館は、指定管理者と連携し、サービスの向上や本に触れる機会の提供に努め、更なる読書推進を図った。 博物館の令和6年度の入館者数は、林野火災の影響により、前年度より減少した。
			②公民館講座延べ参加者数	②人	② 3,286	② 3,333	② 5,000	
			③市民1人当たりの図書館資料貸出点数	③点	③ 2.9	③ 3.7	③ 4.1	
			④博物館入館者数	④人	④ 7,052	④ 6,520	④ 8,400	
			⑤市民芸術祭観覧者数	⑤人	⑤ 5,398	⑤ 5,629	⑤ 7,000	
			⑥市民文化会館利用者数	⑥人	⑥ 33,496	⑥ 36,504	⑥ 84,000	

事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				名称	単位	R5実績	R6実績	R7目標		
2-2-1 市民講座開催事業	・明治大学連携講座及び市民IT講座:市民 ・ふるさと教育講座:市内の中学生	・明治大学連携校講座は、多様な分野にわたり、広く学ぶ。 ・市民IT講座は、情報通信機器を理解し、社会適応力の向上を図る。 ・ふるさと教育講座は、若者の郷土への誇りと愛着を醸成し、将来の地域を担う人材を育成する。	新たな生活様式を踏まえ、情報化、国際化への対応やリカレント教育の視点を取り入れるなど、市民の学習ニーズや地域課題に対応した講座を開催する。  ※R6 明治大学連携講座(全1回2講座)、市民IT講座は総務省事業を活用した民間主導による講座を地区開催(大船渡、日頃市、各4回)及び中央開催(カメリアホール・おおふなぼーと、各4回)、ふるさと教育講座は市内4中学校で実施。	①延受講者数	①人	①1,032	①828	①300	<b>B</b> 受講者数は目標値を上回ってはいるが、前年度に比べ減少しており、要因として、大学連携講座、市民IT講座の開催回数、定員数等を減らしたことが挙げられる。 満足度の高評価比は目標値を上回ったものの前年度に比べ低下しており、大学連携講座における内容が高度だったため、難しいと捉えられたことが要因と考える。	● 講座の開催に当たっては、市民のニーズ、時宜に即した内容について十分に精査、検討する必要がある。 また、庁内各課と連携し、地域課題に関するもの、もしくは自主学習団体等への支援等、生涯学習推進のための新たな手法について検討する必要がある。
				②満足度の高評価比	②人	②97	②86	②80		
2-2-2 博物館教育普及事業	市民	教育普及事業を通して、気仙地域の自然と文化について、学ぶことができる。	博物館資料や気仙地域の自然と文化の教育普及を図るイベントの開催  ※R6 自然観察会、釣針づくり体験会、博物館講座、博物館スクール、教員のための博物館の日、生涯学習相談等	普及事業への参加者数	人	1,422	1,033	1,450	<b>A</b> 普及事業を通して、市民の主体的な学習活動の促進が図られた。 令和6年度の参加者数は、内陸部の小中学校の団体見学が減ったことにより、前年度より減少した。 自然観察会、釣針づくり体験会、博物館講座を実施した際のアンケートでは、「とてもよかった」と回答した参加者が多かった。	○ 市民の学習ニーズを把握するとともに、体験学習等を通じて市民が気仙地域の自然や文化を学び知るにより、シビックプライドの醸成につなげていく。

基本事業3 学習活動の促進

基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	R5実績	R6実績	R7目標	
2-3 学習活動の促進	市民 芸術文化団体	活動の成果を発表する。	①市民芸術祭出品数	①点	① 2,396	① 2,382	① 3,500	B(文化・芸術を除く) 地区公民館主催の催事は、地区ごとに特色を生かした取組が進められており、住民主体による学習活動が定着しつつある。学習活動の推進に向け、全地区での開催となるよう市側から働きかけ等を行う必要がある。
			②市民芸術祭出演者数	②人	② 2,300	② 2,367	② 3,500	
			③地区公民館催事発表件数	③件	③ 8	③ 8	③ 11	

事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				名称	単位	R5実績	R6実績	R7目標		
2-3-1 社会教育関係団体 活動支援事業	社会教育関係団体	自主的な活動を充実、継続させる。	・市地域婦人団体連絡協議会や市PTA連合会事業への協力、補助金の交付 ・大船渡ユネスコ協会への一部事務支援	①主催事業数	①事業	① 6	① 6	① 6	B 社会教育関係団体では、自主的な活動の充実や継続に努めている。 団体の活動状況を踏まえ、補助金額の見直し(縮減)を行った。	●市の各種団体の支援施策の統合を含めた支援体制と補助金の在り方について検討を進める。
				②補助金額	②千円	② 200	② 75	② 200		

施策2 総括

施策名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	R5実績	R6実績	R7目標	
2 生涯学習の推進	市民	主体的に学ぶことを通じて自己実現を図る。	①「日頃、何らかの学習活動に取り組んでいる」と答えた市民の割合(市民意識調査)	①%	① 29.0	① 29.2	① 40.0	B(文化・芸術を除く) 「日頃、何らかの学習活動に取り組んでいる」と答えた市民の割合は前年度から微増となっているが、「日頃、学習活動に取り組んだ成果を活かしている」と答えた市民の割合は減少していることから、市民ニーズに即した講座等の企画や施設機能等の改善を図る必要がある。
			②「日頃、学習活動に取り組んだ成果を活かしている」と答えた市民の割合(同上)	②%	② 53.9	② 45.8	② 60.0	
			施策の方向性(重点項目、課題等)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育施設の計画的な機能改善と適切な維持管理による学習環境の充実</li> <li>・指定管理者の専門的知識を活用したサービス向上及び効果的な管理運営による利用促進</li> <li>・広報・ホームページ・SNSを活用した生涯学習情報の効果的な発信</li> <li>・市民のニーズや社会情勢を捉えた魅力的な学習プログラムの提供による学習機会の拡充</li> <li>・社会教育団体や各地区・地域コミュニティと連携した学習活動の促進</li> </ul>								